

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 枇杷

新訂和漢薬 記載頁

358

基源 ナシ科ビワ *Eriobotrya japonica* Lindl. の木皮, 葉, 花, 果実, 種子.

部位 木皮 (枇杷皮);
葉 (枇杷葉, 芭葉 [蒙古薬方]): 去毛薑炙 [福田方], 火炙去毛 [本草綱目], 去毛水洗剉細 [一本薬選];
花;
果実:
種子 (枇杷核, 枇杷仁).

作用 木皮 (枇杷皮):
無し.

葉 (枇杷葉, 芭葉):
無毒. 下気 [新修本草, 千金方, 千金翼方, 医心方, 証類本草, 本草綱目], 主胃気 [証類本草, 福田方], 和胃, 解暑 [本草綱目, 本朝食鑑], 清熱 [本草綱目], 利肺, 止嘔, 情火, 降痰, 解酒, 止嗽 [満洲漢薬].

花:
無し.

果実:
無毒. 下気 [医心方, 証類本草, 万安方, 本草綱目, 本朝食鑑], 治肺気, 潤五蔵 [万安方, 証類本草, 本草綱目] (=安五蔵 [医心方]), 益人 [医心方], 止渴 [本草綱目, 本朝食鑑].

種子 (枇杷核, 枇杷仁):
伐肝脾, 化痰 [本綱拾遺].

応用 木皮 (枇杷皮):
吐逆 [本草綱目].

葉 (枇杷葉, 芭葉):
卒嘔 [新修本草, 千金方, 千金翼方, 医心方, 証類本草, 本草綱目], 嘔逆 [1] (= 吐逆 [一本薬選]), 不下食 [新修本草], 脚気, 嘔噦, 婦人産後, 口乾 [本草綱目], 渴疾, 欬嗽 [本草綱目, 満洲漢薬], 熱嗽 [本草綱目, 一本薬選], 傷食 [一本薬選].

花:
頭風, 鼻涕 [本草綱目].

果実:
噦, 嘔逆 [医心方] (= 吐逆 [証類本草, 万安方, 本草綱目, 本朝食鑑]), 渴疾 [証類本草, 万安方, 本草綱目], 上焦熱 [本草綱目].

種子 (枇杷核, 枇杷仁):
肺嗽 [本綱拾遺].

処方 葉 (枇杷葉, 芭葉):
五噎散 (膈噎), 嘉禾散 (反胃), 新定枇杷葉飲 (中暑), 枇杷葉丸 (齜鼻), 甘露飲 (走馬疳).

備考